

契成星園

風切東

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

普通に生活したいのに、何でこんなことに・・・。

親友(?)は無茶振りしてくるし、

黒服と白衣は無茶振りしてくるし、

友人(女)は無茶振りしてくるし。

もうどうにかしてくれ、まじで。

※処女作です。誤字脱字あったら指摘お願いします。

第一話

目次

1

第一話

「さて・・・と、帰るか。」

帰り支度を済ませ教室から出る。

今日も疲れたとつぶやきながら伸びをする。

こんな日常を気に入っている俺は「代倉 麻威」（よしくら まい）。

残念ながら女の子みたいな自分の名前が嫌いだ。

「♪〜」

携帯が鳴った。俺は華麗にスルーする。こんな時間にかけてくる奴はアイツしかない。

「♪〜」

鳴り続けている。ああ、もう。うるさいな。

「ピッ。プツッ。」パタン

ちなみに今のは通話した瞬間に通話を切った音だ。

「♪〜」

またか。仕方がない、出てやるか。

「……もしもし。」

「いきなり電話切るんじゃないよ。」

「……用件を聞こう。」

「今すぐ俺ん家に来い。」

「やだ。」

「お前の意見聞いてない。」

「俺はやらなきゃいけないことがあるの!!」

「ほーう。じゃあ言ってみろ。」

「……えーと」

「ないんだな。じゃあ早く来い。」

「とにかく嫌だ。」

「これ以上わめくと力づくで持ってこさせる。」

「……はあ。行けばいいんだろ行けば。」

「話が早くて助かる。」

「じゃあまた後で。」

「10分で来い。」

「……。」

アイツの家の周辺地図を思い浮かべる。ここからだ、えーと。

「お前ん家まで何キロ有ると思ってる？」

「約30キロぐらい？」

「どうやって行けと!？」

「……来れなかつたらお前の家が大変なことになる。」

「……。頑張ってみるよ。」

15分後

「やっと着いた……。」

学校から30キロ全力ダッシュはさすがに死ぬかと思った。

「はあ……はあ……。」

突然後頭部に衝撃が走った。

「ぬがあああああああ!？」

「おせーよ、ばーか。」

「……の、くそ野郎が……!」

痛みを堪え反撃に出る。が、

「おせーよ、ばーかw」

お前にだけは言われたくない。

「5分もオーバーしてんじやねーよカス。」

「無理だろあんなの！お前もやってみろよ!!!」

「やなこと」

紹介が遅れたがこいつは「白滝 慧也」（しらたき としや）

外見がめっちゃよく、さらに学校では猫を被っているため周りの印象がものすごく良い。しかし、他の場所では友人には上のようないじめキャラになる。くそむかつくクラスメイト兼悪友である。

ちなみに俺は特に特徴がないが一応クラスの突っ込み&いじられキャラである。

学校に入ったら即委員長をこいつに押しつけられ、こいつは副委員長となっている。

しかし、こいつは仕事を手早く終わらせてさっさと帰ってしまう。そしてついさっきの出来事が始まるのだ。 はあ。

「.」

「.」

「さて。用件を聞こう。」

「うむ。それはだな.」

「何で俺はこんな事を・・・。」

なぜか俺は慧也のお使いをしている。

「つたく。自分でやれば良いのによ。」

そうつぶやきながら目的地に向かう。

「あれ？麻威ちゃんじゃん。何してんの？」

と声をかけられた。

振り返って誰か確認する。

そこにいたのは「深夜月 蓮輝」（みなづき はすき）クラスメイト&友人だ。

学校の良心ともいえる。どこかの慧也と違い、誰とでも態度を変えず、にこやかに笑う活発な女子だ。外見もかなり良いので彼氏がいないのが不思議である。ちなみに（自称）Cカップらしい。

「ちゃん付けはやめてくれ。見て分からないか？」

「うん。」

「だろうな。」

「何してるの？」

「慧也に強引にお使いにかり出されたんだよ。」

「・・・パシリ？」

「う。はつきり言うなよ。せっかく気にしないように頑張ってたんだから。」

「ごめんごめん。で、また使われてたんだ。好きだねえ。そういうの。」

「好きな訳ねえだろ!!!？」

「・・・。。。」

「す・・・すまん。」

「・・・。まあ、頑張つて。」

「助けてくれ。マジで。」

「運命と思ってあきらめなよ。」

「こんな運命有つてたまるか!」

「じゃあまた明日ね。」

「ああ、じゃあな。」

よし、さっさと買って渡して帰るか。

「確かに受け取った。」

「疲れたから俺は帰るぜ。」

「お疲れw」

さあて、帰ったら寝転がるか。

ん？なんだ？

「貴方は代倉麻威さんですね？」

「はい。その通りですが？」

「ターゲットを見つけた。これから作戦を実行する。」

「ちよつと待て!!なんだその会話は!!!」

なんだ？視界が暗く……………。

……………。